



たらちね通信

Mothers' Radiation Lab & Clinic Fukushima

vol.20



2021.11

たらちね通信

ご支援者の皆さまへ

いつも、たらちねの活動を応援いただき、誠にありがとうございます。

2011年11月の開所以来、皆さまの励ましに支えられ、この10年間、なんとか活動を続けることができました。

そのたらちねの活動をまとめた通信を送らせていただきました。お時間のごございます時にお読みいただければ幸いです。

国際原子力・放射線事象評価尺度(INES)で「レベル7」の史上最悪の福島第一原発事故は、現在も非常事態宣言が解かれていない重篤な状況です。この事故で、私たちは「原子力発電所のエネルギーは人の健康や命の犠牲の上に立つものである」というリスクを実感しました。

また、国が漁業者との約束を守らず、2023年度から海洋放出をするという汚染水問題は、今、踏みとどまれば止めることもできますが、海に流してしまうと回収は不可能です。毎日、プール110杯分が海に投棄されるというこの放出が30年以上続くことを考えると、今を生きる人々の判断と行動がとても大きな意味を持ちます。海洋放出以外の方法もある中、放出という最悪の選択をすることは避けなければならないと思います。

原発事故は、世代を超えた環境汚染を発生させるものです。福島第一原発事故の収束は300年かかるといわれていますが、そこに至るまで、どれほどの子どもたちの未来がこの問題に費やされていくのか、事故を起こした私たち世代の責任は本当に大きなものだと感じています。

そんな中、使用済み核燃料の処分方法も見つからないのに、日本ではまだまだ原発推進の動きはとまりません。第二、第三の福島第一原発事故が起きないように、この未曾有の大惨事による犠牲を無駄にすることなく、学び、役立てていくことは、時代の責任を担い、舵取りする大人たちの義務だと思います。

たらちねの活動はコロナ禍の中、日本中のご支援者の皆さまがご苦労しながら支えてくださっています。

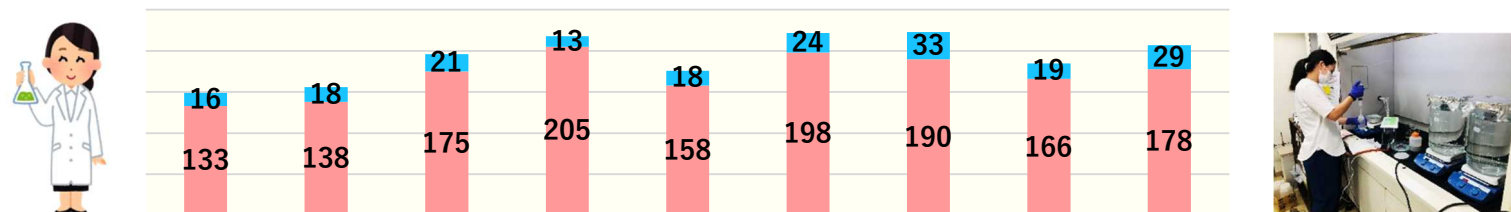
多くのみなさまの心からの思いにお応えできるよう、現場で活動する私たちスタッフも、日々、努力し今後も頑張っていきたいと思えます。これからも、どうかお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

また、冬に向かってコロナウィルスの感染拡大など心配は尽きませんが、みなさま、どうかくれぐれもお身体を大切にお過ごしくださいませ。

放射能測定件数 1,732件 (2021年1月～9月)

1月～9月までで1,732件の測定を行いました。(依頼測定の外、海洋調査や公園測定、砂浜測定などで採取した試料も含む) 8月にゲルマニウム半導体検出器を1台ご寄贈していただき、現在はガンマ線測定器6台、ベータ線測定器2台の計8台が毎日稼働しています。

■ ガンマ線 ■ ベータ線



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
■ ガンマ線	133	138	175	205	158	198	190	166	178	1541
■ ベータ線	16	18	21	13	18	24	33	19	29	191
合計	149	156	196	218	176	222	223	185	207	1732

測定ラボは毎日大忙し！！

たらちねは平均すると毎月、約190件の測定を行っています。測定作業の他に海や湖、公園などでの環境調査、データの集計など毎日作業が盛り沢山です。安全かつ正確に、無駄なく作業ができるよう、スケジュール管理を徹底し、日々作業に取り組んでいます。





緊急支援「福島第一原発沖1.5km地点での海洋調査」のご支援のお礼

この度の「緊急支援のお願い」について、沢山の方にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。皆さまからのご支援のもと、8/24に福島第一原発沖での海洋調査を行いました。

海洋調査の様子はYouTube(ユーチューブ)に掲載していますので、ぜひご覧ください！



スマートフォンの方は
QRコードをカメラで
読み込んでください

たらちね海洋調査



パソコンの方は
YouTubeで
「たらちね海洋調査」
を検索してください



東京電力から、福島第一原発の処理汚染水は海底トンネルを新設して沖合約1キロで放出するなどの海洋放出の全体計画が発表されました。

福島第一原子力発電所における多核種除去設備等処理水の取扱いに関する検討状況について 2021年8月25日
東京電力ホールディングス株式会社

<https://www.tepco.co.jp/press/release/2021/pdf3/210825j0101.pdf>

海に流してしまったら、回収することも、消すこともできません。もう元には戻せません。

私たちに今できることをひとつずつ行っていきたいと思います。



QRコードから
資料が見れます



たらちねの海洋調査は東京電力敷地内の陸から半径1.5kmより外側の海域のA～Cの地点で試料の採取をしていました。今夏からは新たに海底トンネル側の「地点D」を増やしました。※1.5km以内は東京電力の敷地となっています



トリチウムの電解濃縮装置の導入

昨年末に電解濃縮装置を導入して以降、自由水型トリチウム測定の出検下限値を格段に下げることができました。



電解濃縮装置の導入前の検出下限値 1.9Bq/L程度



電解濃縮装置の導入後の検出下限値 0.14Bq/L程度



環境中のトリチウムは1～0.4Bq/L程度と
言われています。

検出下限値が0.14Bq/L
まで下がることで
環境中に含まれている
微量のトリチウムまで
正確に測れるよう
になりました！



海水や川水、湖水、雨水、水道水といった水の種類でどう違いがあるのか、地域や季節によって変動があるのかなど、様々な比較をすることができます。処理汚染水の海洋放出が2年後に迫る中、多くの試料を測定し、データを蓄積していくことは、これまでとこれからの検証に必ず役立つこととなります。

こうした精密測定ができるのも、他ならぬ沢山の皆さまからのご支援があったからこそ、実現できたことです。貴重なご支援を本当にありがとうございました。

ゲルマニウム半導体検出機をご寄贈いただきました！

一般財団法人 材料科学技術振興財団様より、中古のゲルマニウム半導体検出機をご寄贈いただきました！

たらちねでは、毎月200件前後の試料の測定を実施しています。その中で、セシウム等の測定をより正確に行えるゲルマニウム半導体検出機は頼りになる測定器です。しかし、価格が高額で現在所有している1台の他に追加設置することは難しいと考えておりました。

今回、ご寄贈いただいたゲルマニウム半導体検出機は中古ですが、状態も良く、これからの活躍が期待されます。大切に使用し、測定結果を多くの人々にお知らせし、子どもたちの健康のために役立たせていきたいと思っております。



QRコードから
搬入の様子が見れます



ゲルマニウム半導体検出器は高感度の測定を行うために、検出器周りの鉛遮蔽体の厚さが10~15cmあり、総重量が1.5~2トンくらいあります。今回、ご寄贈いただいた測定器も同じくらい重く、クレーン車を使って搬入しました。測定器は「あとりえ・たらちね」の測定器室に設置してあります。



県営あづま総合運動公園の測定結果

7月21日から福島市の県営あづま総合運動公園で、東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技が開催されました。立ち入り等が可能な場所で、放射能測定を行いました。現在でも、10年前の原発事故による放射能汚染が残っていることが確認できます。目に見えない・におわない・感じない放射性物質は測定だけが唯一その存在を知る方法です。

あづま総合運動公園 東側(福島県福島市佐原) 測定日:2021年6月28日・30日



日本遮蔽技研 歩行サーベイ ホットスポットファインダー(HSF)にて、地上1mを測定。20秒間の平均値。単位は「 $\mu\text{Sv/h}$ 」

※ホットスポットファインダーとは、GPS連動型の空間線量率自動記録システムです。タブレットのパソコンと小型の超高感度ガンマ線検出器を持ち歩いて計測すると、移動経路ごとに、その場所の空間線量率を記録することができます。



タブレットには
←このように
表示されます。
※写真は双葉郡を
測定した時のものです

場所		地表線量※1 ($\mu\text{Sv/h}$)	土壌中の セシウム137※2(Bq/kg乾)	土壌中の セシウム134※2(Bq/kg乾)
A	並木道歩道 南東側	0.21	1870 \pm 189	67 \pm 7
B	並木道植え込み下	0.10	373 \pm 38	15 \pm 1
C	並木道歩道 南東側	0.31	3410 \pm 353	144 \pm 16
D	ピクニック広場	0.09	362 \pm 37	15 \pm 2
E	クライミングウォール横の森	0.14	1350 \pm 137	49 \pm 5
F	テニスコート脇	0.08	224 \pm 24	10 \pm 1
G	多目的運動広場北側	0.07	176 \pm 19	7 \pm 1
H	野球場バックスクリーン裏の森	0.17	2050 \pm 210	86 \pm 9
I	補助陸上競技場脇	0.09	174 \pm 18	8 \pm 1
J	並木道 植込み	0.13	202 \pm 21	8 \pm 1
K	あづま運動公園 看板付近	0.06	89 \pm 9	不検出(<2)※3


※1 HORIBA社 環境放射線モニタ Radi PA-1100で測定

※2 ATOMTEX社 NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ AT1320Aで測定

※3 カッコ内の数値は検出下限値



同じ敷地内でも場所によって数値の差が大きいです。放射能汚染は見た目だけでは判断が難しい点もあり、測定的重要性を改めて感じます。

 調べてみよう！比べてみよう！

測定結果は数字だけ見ても、分からないことが沢山あります。採取した時期や場所など色々なデータと比較して見ることで、どの程度の汚染なのか、より深く知ることができます。たらちねは全国の皆さまから測定依頼をいただいております、測定結果は毎月HPなどに掲載しています。(採取場所は住所で大字までの開示です)

それらのデータは依頼された方だけでなく、私たちにとっても福島と比べてどの程度なのかを知ることができる貴重なデータの一つです。その時々結果をきちんと記録し、次の世代へ残していくことは、これから長く続く放射能汚染と向き合う上で、とても大切なことだと思います。

【たらちねで測定した土の測定結果】

たらちねで測定した試料は全て毎月HPに掲載しています
過去の結果はこちらからご覧ください→



試料名	採取場所	採取日	セシウム137(Bq/kg乾)	セシウム134(Bq/kg乾)
公園の土	福島県いわき市常磐上湯長谷	2021年8月	929 ± 95	44 ± 5
土壌	福島県福島市大波	2021年5月	2370 ± 244	104 ± 12
土壌	福島県双葉郡富岡町	2021年1月	1240 ± 126	46 ± 5
土壌	福島県双葉郡大熊町	2020年11月	16600 ± 3300	774 ± 155
土壌	山梨県北杜市大泉町	2020年7月	8 ± 1	不検出(<3)
土壌	山梨県北杜市大泉町	2020年7月	不検出(<1)	不検出(<2)
土壌	東京都武蔵野市御殿山	2020年11月	不検出(<3)	不検出(<3)
土壌	長野県諏訪郡富士見町	2020年7月	17 ± 2	不検出(<3)
土壌	長野県諏訪郡富士見町	2020年7月	不検出(<1)	不検出(<2)

※測定試料が天然放射性核種を含有する場合、測定値にそれらの放射能が計測算入されている可能性を否定できません。

上記の結果はあくまで測定した試料の測定結果です。同じ住所でも採取場所や採取時期が異なれば、汚染度も変わりますのでご注意ください。



下記は『日本の環境放射能と放射線』のHPに載っている原発事故前の土の測定結果の一部です。『日本の環境放射能と放射線』のサイトは原子力規制庁の委託により公益財団法人日本分析センターが運営・管理しています。環境放射能調査の結果などを項目や地域、年代別に閲覧することができます。

試料名	採取層	採取場所	採取日	セシウム137(Bq/kg)	セシウム134(Bq/kg)
土壌 (陸土 表土)	0~5cm	福島県福島市	2008年6月	22※	不検出
土壌 (陸土 表土)	0~5cm	福島県会津若松市	2008年6月	0.95※	不検出
土壌 (陸土 表土)	0~5cm	福島県南相馬市	2008年6月	19※	不検出
土壌 (陸土 表土)	0~5cm	福島県双葉郡大熊町	2008年5月	15※	不検出
土壌 (陸土 表土)	0~5cm	北海道岩内郡岩内町	2008年10月	4.7※	不検出
土壌 (芝地 草地)	0~5cm	埼玉県さいたま市桜区	2010年7月	6 ± 0.34	—
土壌 (未耕地)	0~5cm	山梨県北杜市	2010年8月	8.7 ± 0.67	—
土壌	0~5cm	福岡県福岡市早良区	2010年7月	2.3 ± 0.17	—

※放射能濃度誤差の記載がなかったため、数値のみ掲載しています。



福島第一原発事故の前でもセシウムが出ているのはなぜ？



過去に行われた大気圏内核実験や原子力施設の事故などで、大気中に放出された放射性物質が拡散し、それらが地上に降下しました。セシウム137の半減期(放射能のエネルギーが半分に減るまでの期間)は約30年です。

1950年代から1960年代初頭にかけて行われていた大気圏内核実験などで拡散した放射性物質は60年以上経った今も環境中に存在しています。

福島第一原発事故でも大量の放射性物質が拡散しました。放射性物質の種類によって半減期が異なるため、今は検出されないものもあれば、今後も何十年と残り続けるものもあります。これから先、何が起こるか予測できない状況の中、測り続けていくことはとても大切なことだと思います。



2013年から始めた たらちねの甲状腺検診は今年で9年目になります。これまで延べ14,000人以上の方が検診を受けられました。福島県では、震災時に概ね18歳以下であった方※を対象に甲状腺(超音波)検査を実施しています。

※1992年(平成4年)4月2日～2012年(平成24年)4月1日生まれの方

対象者は20歳を超えるまでは2年ごと、25歳以降は、25歳、30歳など、5年毎の節目に検査を受けます。上記以外の成人の方や震災後に産まれたお子さん(2012年4月2日以降に産まれた方)は検査の対象外です。検診を受けられる方の目線に立ち、不安が少しでも軽くなるようにと、たらちねでは居住地などは関係なく、**3歳以上※**の方を対象に検診を続けてまいりました。※検診時に3歳以上であれば、どなたでも受けることができます。

たらちねの甲状腺検診はクリニック以外に、月1～2回、土日や祝祭日に地域の公民館などを利用して出張検診も行っています。出張検診を開催すると「遠くまで来てくれてありがとうございます」、「次はいつ来てくれますか？」など、皆さまから色々なお声を頂きます。地域によっては検診の案内をすると、あっという間に予約が満杯になってしまい、急ぎよ別日を設けることもあります。

被曝による健康への影響は明らかになっていないことも多くあります。何十年と時が経ってから分かることもあるかもしれません。皆さまの不安な声に寄り添い、健康の見守りを続けて行くことが、たらちねの役目だと思っております。今年新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、出張検診を中止せざるを得ない日もありましたが、今後も感染対策を十分に行いながら、検診を続けてまいります。

甲状腺検診一覧 2021年1月～10月 検診人数 325人

出張検診日	場所	人数
1月11日	サンライフ南相馬(南相馬市)	27人
2月7日	中郷町多目的集会場(北茨城市)	中止
3月28日	広野町公民館(双葉郡広野町)	3人
4月11日	中郷町多目的集会場(北茨城市)	46人
4月25日	会津若松中央公民館神指分館(会津若松市)	36人
5月9日	亘理中央公民館(宮城県)	59人
5月23日	北茨城市民ふれあいセンター(北茨城市)	49人
6月6日	川内村コミュニティセンター(双葉郡川内村)	3人
6月27日	二本松福祉センター(二本松市)	22人
7月4日	角田市市民センター(宮城県)	44人
8月8日	森林の分校ふざわ(南会津郡)	中止
8月29日	須賀川東公民館(須賀川市)	中止
9月5日	サンライフ福島(福島市)	中止
9月12日	米沢市たけのこ保育園(山形県)	中止
10月2日	たらちねクリニック(いわき市)	36人
合計		325人



仰向けで寝た状態で首の部分にゼリーを塗り、プローブを当て検査します。甲状腺の大きさや形、しこりの有無・位置、内部の血流など甲状腺の状態を確認します。

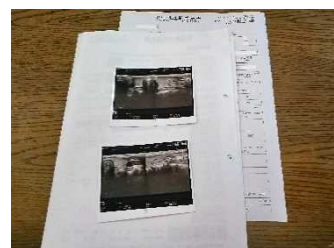


お子さんの検診は必ず保護者の立ち合いの元、一緒にエコー画面を確認しながら行います。

甲状腺検診のエコー機器を購入しました



2013年から甲状腺検診を始めて、これまで多くの方の検診を行ってまいりましたが、検診に使用していたエコー機器に度々不具合が出ていました。この度、「未来の福島子ども基金」のご支援をいただき、たらちねクリニックに新しいエコー機器を購入することができました！子どもたちの健康を守るため、大切にに使わせていただきます。ご支援をいただきました皆さま、ありがとうございます。



検診終了後はエコー写真と検診報告書を手渡ししています。

2011年3月の原発事故から、10年以上たちました。被災者・避難者の補償は縮小や打ち切りとなるケースが後を絶たず、その一方で全国の原発再稼働への動きがじわりじわりと進んでいます。

原発事故後、子どもたちの命と未来を心配し、遠くの慣れない土地に避難し、生活を始めた家族や母子が多くありました。子どもたちは成長し、中学・高校や大学への進学、就職していく年代となってきました。

そんな中、山梨県立大学が、福島県から避難し住民票を地元に残した高校生の入試出願を受理しない、といった事が起こりました。住めなくなった故郷から泣く泣く離れ、見ず知らずの町で生きるため、住民票を残しておく選択をした保護者の辛さ悔しさは、はかり知れないことでしょう。そして何よりも、原発事故により理不尽な仕打ちを繰り返して受けてきた子どもたちの悲しみと怒りを、私たちはどれだけ共有できているのでしょうか。

大学側は、配慮が足りなかったとして、陳謝し出願を受け入れましたが、これは単なる事務的形式的な問題ではありません。原発事故による被災者・避難者が、当時どんな状況にあったのか、何故そうせざるを得なかったのか、そして今でもその苦難は続いている。そのことが理解されていないために、このようなことが起こったのです。



たらちね事務所からの景色 Photo by Misao Fujita

原発事故後、脱原発へ向けた大きな運動が全国的にありました。多くの人たちが、苦しむ福島の人たちに気持ちを寄せ、理解しようとしていました。そして将来の自分たちの社会は、自分たち一人一人が創っていこうとしました。その胎動は、この国が変わっていくチャンスだったのだと思います。

10年たっても、あの時から変わらないこと、忘れてはいけないことを見つめながら、助けを必要としている人たちとともに歩んでいきたいと思っています。

2021年11月 藤田操

緊急支援「こどもドック手帳の作成・配布」のご支援のお礼

皆さまからご支援を頂き、こどもドック手帳を作成することができました。沢山のご支援を頂き、本当にありがとうございました。

たらちねに検診に来られたお子さんたちに、藤田先生が検診結果を記録し、お渡ししています。

先日、こどもドックを受けに来られた姉妹の保護者さんから、「とても素敵な手帳をありがとうございました。」と、お礼のお電話を頂きました。

(たらちねこどもドックは原発事故当時18歳以下だった方を対象にしています。当時は子どもでしたが、現在は成人しているため、保護者同伴ではなく、ご本人のみ来院されるケースも少なくありません。)

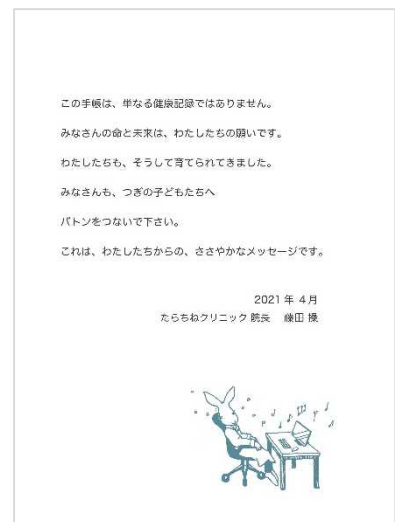
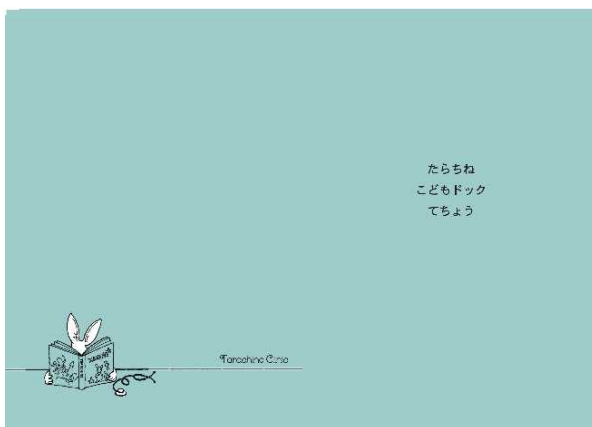
これまで、たらちねは子どもたちの健康を見守る活動を続けてきましたが、その健康管理は親が行っていました。原発事故から10年が過ぎ、当時子どもであった子が、自身の健康を自分で管理する世代になりました。また、母親・父親になり、自分の子どもと一緒にこどもドックを受ける方もいらっしゃいます。自分自身の健康を守って生きて欲しい。そんな願いが込められた手帳です。

こどもドック手帳のご紹介



診察中のウサギ先生の絵が
表紙になっています

藤田先生からのメッセージ付きです



項目	検査項目	結果	参考値
内科検査	1. 総コレステロール(総脂質)	A-1 A2a A2b A2c B C	
	コレステロール測定	総コレステロール	単位: mg/dL
	LDL	LDL	120~245
	VLDL	VLDL	男 70以下/女 46以下
	HDL	HDL	男 50-120/女 55-110
	LDL-C	LDL-C	150-219
	LDL-P	LDL-P	30~149
	LDL-A	LDL-A	男 10-82/女 10-90
	LDL-B	LDL-B	80~180
	LDL-C/A	LDL-C/A	男 0.45-1.09/女 0.46-0.82
	LDL-C/B	LDL-C/B	男 3.5-7.0/女 2.3-7.0
	LDL-C/D	LDL-C/D	135~145
	LDL-C/E	LDL-C/E	3.5-5.0
	LDL-C/F	LDL-C/F	98~108
	LDL-C/G	LDL-C/G	8.6~10.2
血液検査	赤血球数	×10 ⁹ /mm ³	男 4.8-5.7/女 3.70-5.16
	ヘマトクリット	%	男 38.6-48.2/女 34.2-45.2
	ヘマトクリット	%	14.2~21.9
	ヘマトクリット	%	35.00~37.00
	ヘマトクリット	%	0.90~1.20
	ヘマトクリット	%	0.520~0.600
	ヘマトクリット	%	0.3~1.2
	ヘマトクリット	%	12~45
	ヘマトクリット	%	13~45
	ヘマトクリット	%	124~138
	ヘマトクリット	%	
	ヘマトクリット	%	
	ヘマトクリット	%	
	ヘマトクリット	%	

My Note

氏名 _____

生年月日 _____

2011年3月11日の居住住所 _____

毎週毎季検査日時と避難状況

〈避難1〉 月 日 _____ から _____ へ

〈避難2〉 月 日 _____ から _____ へ

〈避難3〉 月 日 _____ から _____ へ

〈避難4〉 月 日 _____ から _____ へ

〈避難しなかった〉 _____

Tarachine Clinic

子どもドックの検診結果を記録するページ

名前や生年月日、避難状況などを書くページ



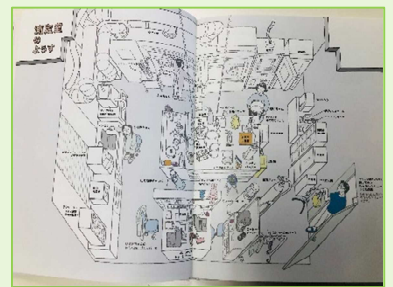
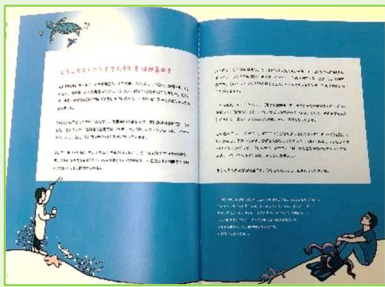
たらちねのストロンチウム90の絵本をお持ちの方はお気づきかもしれませんが、絵本に出てくるウサギ先生が、お手帳にも登場しています。

ココにいます♪

「野の道」の紹介ページ

子どもたちの毎日を支える活動の詩(うた)です。たらちね通信の最後のページに掲載しています。

ストロンチウム90の絵本の一部



ストロンチウム90の絵本をご希望の方はご連絡ください♪

たらちねでは、物販事業を定款に定めていないため、本は販売するのではなく配本とさせていただきます。(2,500円相当の内容です)したがって、本の代金は無料となります。送料は自己負担をお願いいたします。ご注文後、着払いで送らせていただきます。

院長コラム

たらちねHPのクリニックのコーナーに毎月、院長コラム「みさお先生のたらたら日記」を毎月掲載しています。日々の想いを時に優しく、時に鋭く綴ったコラムの中から一部を紹介します。

先生のコラムのバックナンバーはこちらです!→



Photo by Misao Fujita

ぼくのノオト「始まりは終わりから」

アメリカの高校や大学では、卒業式をコメントメントという。

本来は「始まり」の意味をもつが、卒業は次のステップへの始まりであることからそう言われる。

新たな一日は、良い朝を迎えるための前夜から始まる。明日から頑張ろうと、夜遅くまで酒を飲んだり、ダイエットを始める前に食いだめをした、なんていうおちゃらけ者も周りにはたくさんいる。しかし、環境や命の循環を破壊させる問題になると事は深刻だ。

「復興を進める」を口実に、汚染水を海に流すという人間の驕った行方は、地球環境とすべての生きものの未来を葬ることに他ならない。

脾臓がんで他界したスティーブジョブズは、スタンフォード大学のコメントメントスピーチで言った。

「生きるものの終焉は、古きものを片付け、新しきものために路をつくる」



新型コロナウイルス感染拡大に始まった2020年。なにかと制限される日常、子どもだけではなく大人にとっても心身ともにつらい時期が続く中、2011年3月11日の東日本大震災をリンクされた方も多いのではないでしょうか。

震災から丸10年を振り返る中で、「天災は忘れた頃にやってくる」まさにそんな言葉が身に沁みました。そんな中、あの日々からしまい込んでいたこころの疲れが溢れ出るケースも相談の中ではみられました。目には見えないこれらの問題は、こころにも悪影響をおよぼしていることは確かです。こころのケアにおいても、経験を後世に伝え遺すことだけでなく、生かすことが大切だと改めて感じました。

これまで同様に、子どもたちにあそびの力を通して、こころとからだを元気にするお手伝いとともに、ボディーワークや、お母さんの元気をサポートするために、一人一人の語りを取り入れたナラティブヨガをスタートしています。

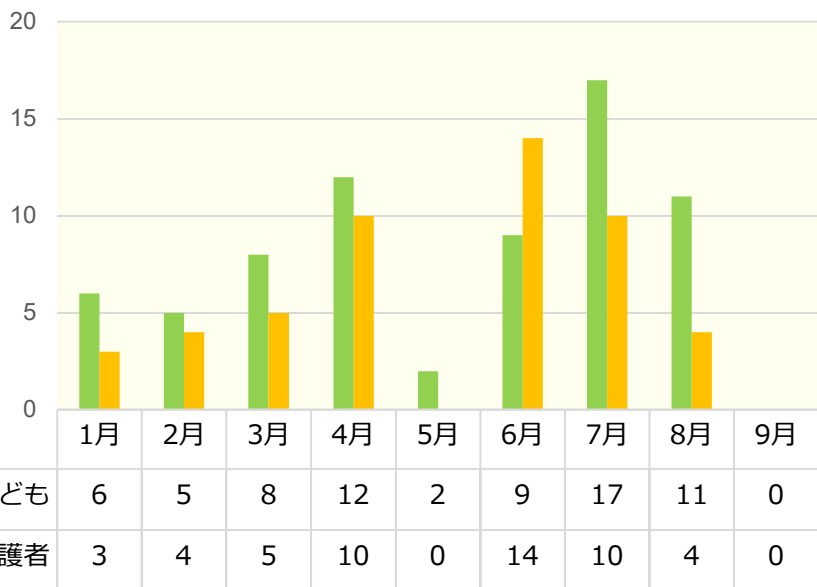
震災当時は幼かった子どもたちも大きくなり、日本プレイセラピー協会の本田涼子先生のアドバイスを受け、年齢に応じたボードゲームなどを取り入れたあそびも工夫しています。また、子どもの潜在能力を引き出せるよう、パステルアートなども準備し、子どもたちの可能性を高めていけるように心がけています。

今年7月に行ったお母さんたちの座談会では、同じような悩みを吐き出すことによる心身のリフレッシュ効果を感じています。今後も、引き続き子どもとお母さんの元気を見守っていきたいと思います。



あとリエ・たらちね利用者数(延べ人数)
2021年1月～9月 120名

あとリエ「ワルンペ」で遊ぶ
子どもたちの様子



いわき市にまん延防止等重点措置が適用されたため
8/17～9/30まであとリエの利用を停止しました。

出張イベントを開催しました！

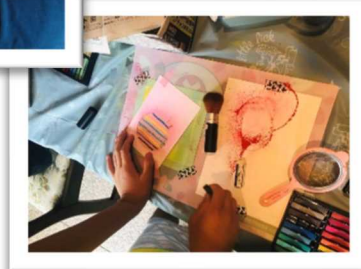


7月27日に、いわき市の草野心平記念館に併設のカフェで、こころのケア事業の出張イベントを行いました。地域のお母さんたちと子育てについて気兼ねなくお話をすることを目的として企画し、11名の親子が参加しました。

お母さんたちは日々の子育てについての座談会を、子どもたちは別室でパステルアートなどを行い、それぞれに貴重な時間を過ごすことができました。



パステルアートを
楽しむ子どもたち





ご支援ありがとうございました！

たらちねは寄付金だけでなく、チャリティイベントの開催や物資のご支援など国内外から沢山の応援をいただいております。いつも温かいお心添えを本当にありがとうございます。



アメリカのシアトルで活動する Songs of Hopeの皆さまがトリチウム電解濃縮装置購入のクラウドファンディングを支援するため、YouTubeイベントを開催してくださいました。



ゆの実会〈ウィズアス・プロジェクト〉の皆さまから、ストロンチウム90の測定で使う「マグネチックスターラー」とトリチウム測定の還流蒸留で使う「フラスコー式」のご寄付をいただきました。



奈良県でたらちね支援のコンサート「第26回ならフォーク村チャリティコンサート」を開催していただきました。定期的にチャリティコンサートを開催されており、その度に集まった寄付金を送ってくださいます。



門田バンドチャリティーライブ様よりご支援金を頂きました。2011年より続けておられる「東日本大震災復興支援」として、継続的にご支援を頂いております。



オーガニックコットンの優しいアイテムが人気のnanadecorの皆さまから、オーディオセット2台をご寄贈いただきました。1台はクリニックに、もう1台はあとりえで使わせていただいております。



Charty mini hafra 2021 in NazaRにご参加の皆さまから「たらちね子どもドック手帳の作成・配布」にご支援を頂きました。



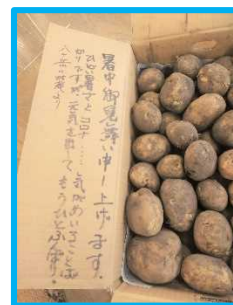
明治ホールディングス株式会社の株主の皆さまより



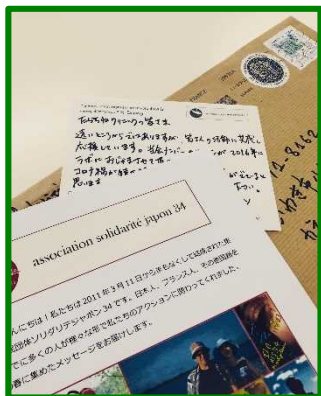
秀明インターナショナル&ライフフードコミュニケーション様より、リンゴジュースとスイカを頂きました。



球美の里のボランティアでステンドグラス作家のサエ様より



長野県にご在住のご支援者さまより



南フランスで結成された東北被災地支援市民団体ソリダリテジャポン34様よりエアメールと寄付金を頂きました。



画家の鈴木様より



今中哲二先生より



チクチク会の皆さまより



ご支援さまから頂いたウクライナの花と虫の絵画



浜松有機農業者マーケットの会様より



絵本やお菓子、マスクなども頂きました。



たくさんのご支援を本当にありがとうございました！！



海外からの取材依頼

今年の3月は原発事故から丸10年ということもあり、海外から取材依頼が多くありました。ある取材クルーの方は、「世界中に原発がある中で、福島で起きたような事故がまたどこかで起きてしまうかもしれない。そこから私たちは学ばなければならない。一般市民であるたらちねのスタッフがこういった問題に真摯に向き合い続けていることは本当に素晴らしいことだ。」と仰っていました。海外のメディアは10年経った今でも原発事故に関連する問題を取り上げているところもあり、私たちも多くの気づきがありました。

France 24



3:55辺りから出ています

ドイツ第2テレビ



30:50辺りから出ています

アルジャジーラ



アメリカ
ブルームバーグ



France 24



第2ドイツテレビ



ブルームバーグ



上記以外に、オーストラリアやブラジルなど世界各国のメディアから取材依頼を頂きました。





東日本大震災発生

2011年
3月11日

東京電力福島第一原子力発電所の事故

2011年11月13日

いわき放射能市民測定室たらちね開所

沖縄・球美の里子ども保養プロジェクト
の受け入れ開始

2012年7月

参加申込の受付、送り出しなどをたらちねの事業の一環として行ってきました。
これまでの保養参加者数は子ども3,805人、保護者949名、合計4,754人です。(2021年10月末時点)



2013年3月

甲状腺検診プロジェクト開始

たらちね独自で専門の医師による甲状腺検診を始めました。
これまでに延べ14,000人以上の方が受検されました。



ベータ線ラボ開設

2015年4月

ストロンチウム90とトリチウムの測定を始めました。



2015年9月

福島原発沖での海洋調査開始



たらちねクリニック開設

2017年6月

日本初、放射能測定室に併設するクリニックを開設しました。
オープニングセレモニーにはいわき市長はじめ、関係者の皆さまなど沢山の方にご出席いただきました。



2018年1月

あとりえ・たらちね Uwari Un Pe(ワルンペ)
& Sir Pirika(シッピーカ) 開設



ゲルマニウム半導体検出器を購入

2019年8月



2020年12月

トリチウムの電解濃縮装置を導入



「たらちね」の活動は、皆さまからのご寄付でまかなわれております。
子どもたちの命を守るためにご支援・ご協力をお願い申し上げます。



クレジットカードによるご寄付は
インターネット上からお申込み可能です！



ご寄付は税控除の対象になります

たらちねは認定NPO法人です。個人・法人・遺産相続からご寄付をいただいた場合、「寄付金控除」が
ございます。

たらちねにいただいたご寄付は、「特定寄付金」としてすべて所得控除、あるいは税額控除の対象とな
ります。法人からのご寄付につきましては、特別損金算入限度額の寄付金として損金算入することがで
きます。

寄付金控除を受けるには

寄付金控除を受けるためには、必ず確定申告をしてください。

(確定申告の際には「たらちね」が発行した領収書が必要です)

10,000円の寄付をすると…



(寄付金額－2,000円)×40%
が還付されます

※所得税額の25%が限度

Paypal(ペイパル)による
クレジット決済も可能です



《ゆうちょ銀行からのお振込み》

ゆうちょ銀行 02240-5-126296 トクヒ) イワキホウシャノウシミンソクテイシツ

《ゆうちょ銀行以外の他銀行からのお振込み》

東邦銀行 小名浜支店 店番号 605 普通預金 口座番号 1389887

トクヒ) イワキホウシャノウシミンソクテイシツ

※振込手数料が免除となる郵便振込用紙がございます。

ご希望の際は郵送で送らせていただきますので、ご連絡ください。

※郵便局(ゆうちょ銀行)の「窓口」からのお振込の場合のみ振込手数料が免除されます。

※ATMおよびゆうちょダイレクト(パソコン、携帯電話、FAX)でのご送金では振込手数料は免除されませんのでご注意ください。

たらちね通信vol.20

発行者 認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね
福島県いわき市小名浜花畑町11番地の3
電話 0246-92-2526
ホームページ <https://tarachineiwaki.org>
発行日 2021年11月1日

「野の道」

野の道をととのへよう
子らが行く路
樹々もあれ、野の花々
かたはらに蜜も虫も
裸足よ歩けば
ひたひたと
死んでゐるひとたち
うたを唱へば
かやかやと
未だ生まれぬもの等にも
響き伝はる
生きてゐる音
野をならし
道をととのへよ
子らが通ふ野の路
はるかむかうを見るあたり

「子どもたちの歩く道をととのえていく」私たちが日々大切にしていることです。
子どもたちの毎日を支える活動の詩(うた)です。

認定NPO法人 いわき放射能市民測定室 たらちね
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3
カネマンビル3F
TEL 0246-92-2526 FAX 0246-38-8322
メールアドレス toiwase@tarachineiwaki.org

ホームページ インスタグラム フェイスブック



随時更新してます♪ フォローお待ちしております！

